

至仏山 BC

【山城】尾瀬・至仏山

【日程と天候】2016年4月24日（晴）

【メンバー】CL菊池（TM）・狩野（ボード）・井上（里）（AT）

【行程】千葉―戸倉駐車場―バス―鳩待峠（1591m）―至仏山山頂（2228m）―南東斜面―標高1850m地点まで滑走―登り返し―オヤマ沢田代2000m地点で登山道ルートに合流―鳩待峠 累計滑走・登りとも標高差780m



・例年GW前のこの時期に鳩待峠まで道路が開通し5月10日頃までの限定BCが楽しめる至仏山、昨年は5月6日でも悪沢をボトムまで滑走し川上川のブリッジも健在であつたが今期の小雪で果たして楽しめるのかどうか？

この時期に度々、至仏山 BC を楽しんでいましたが、ムジナ沢か悪沢をボトムまで滑らないと満足できないと考えていた。

尾瀬財団の HP <https://www.oze-fnd.or.jp/archives/62812/> には 残雪状況が掲載されており、今期は既にブリッジはなく、登山道ルートに戻らなければならない。

鳩待峠駐車場の収容台数は少なく、いつものように戸倉駐車場から乗り合いマイクロバス（片道 930 円）に乗り込んだ。鳩待峠に着いてみると駐車場には数台の余裕があった。8:30 過ぎスタート、さすがに少雪のため、まずはツボ足、少し進むとシール登行可能となっ



た。

笹藪が出ているルートを進むと、至仏山・小至仏山の斜面が望めます。こんな感じです。大分ハイマツが出ているようであるが、上部は十分滑走を楽しめそうである。



滑走後の復路でどのルートで往路に戻るかを検討しながらハイクアップした。小さな沢地形が数本上部まで窪んでおり、標高 2000m ほどで漸く、沢地形の影響がないことが確認された。尾瀬ヶ原を俯瞰できる地点に来てビックリポン、すでに全く雪が残っていません。もしや既に水芭蕉が咲いているのでは？

入山者はかなり多いが、スキーヤーは少雪のせいが大分少ない気がする。ボーダーのガイドツアーが目立つ。



以下、井上（里）さんの記述です。

私にとってちば山でのワンシーズン目の最後の山スキーに、至仏山に連れて行ってもらいました。

高校一年の初めての合宿から始まりなぜか節目 節目に登っている山で、この山は私にとって思い出深く是非滑ってみたいと思っていた山です。

今年は雪がどこも少なかったので、かなりの距離スキーを担いで歩くことになると思い、スキー靴との相性が悪い私は登山靴を用意したのですが、リーダーに「重くなるから ダメ！」と却下。

戸倉からバスに乗り鳩待峠行く途中雪はほとんど無く、まったく期待のできない状態でしたが峠に着くと登山道に少ないながら雪が有り、遠くの至仏の山肌が白く見えホッとしました。しかし繋がっていない可能性もあり板を背負って歩くことになりました。五分も歩くと滑っている跡もあるのでスキーを着けることに、Kさんはボードです。クマザサや低木がかなり出ているので歩き易いルート探しながら外すことなく進みます。まもなく笹も見えなくなりシラビソのなか大きく右に回り込み帰りのルートを頭に入れながら登ります。遠くに至仏山の白い斜面が美しく期待が高まる。

尾根筋の右手を行くが沢が雪で埋まっていなくて深い溝となっているところが有り、もし帰りにルートを下に取り過ぎると苦労しそうである。スキーを履いているとつい下に滑って行きすぎてしまうので気を着けなければいけないところのようです。

登るにつれて私は足が痛くて堪らなくなるが目の前に見える至仏山の大斜面を見ながら頑張る。今年は雪が少ないので尾瀬ヶ原には下りられないと聞いていたが、本当に雪のカケラひとつ見えない草原になっている。

小至仏山を過ぎると雪面は山頂手前左の小さなピークに上がっていて私達はそこでシーンを外すことにした。すぐ目の前の山頂はぽっかりと浮かんで見え何か違う山を見ている

ようで面白い。足元からはこれから滑走する斜面が広がり、私は不安と期待でドキドキした。リーダーは美しい雪面にテンションが上がり目の前の山頂の人達に向かって「ヤッホ



ー」と叫んでいる。私は思わず横を向いて関係無い素振りをしてしまった。リーダー、ごめんなさい。

いよいよ滑り出す。山頂下の斜面を滑るとハイ松をトラバースする必要がありそうなので、小至仏寄りの斜面に決め、かなり下まで気持ちよく滑る。雪質もよく平面で初心者



者の私でも恐さは無い。ずーとこのまま下に滑れたらどんなにいいだろうと思った。しかし、もと来た尾根道方向に戻らなければならない。トラバースと登り返しと滑りを繰り返しながら鳩待峠へ向かうがボードのKさんはスキーと違いトラバースは辛そうでした。

峠に近くなると藪も多く苦労しましたがどうにかスキーを脱がずに登山口に無事到着。とっても満足できました。



今度また、雪の多い年に是非来ようと思いました。

